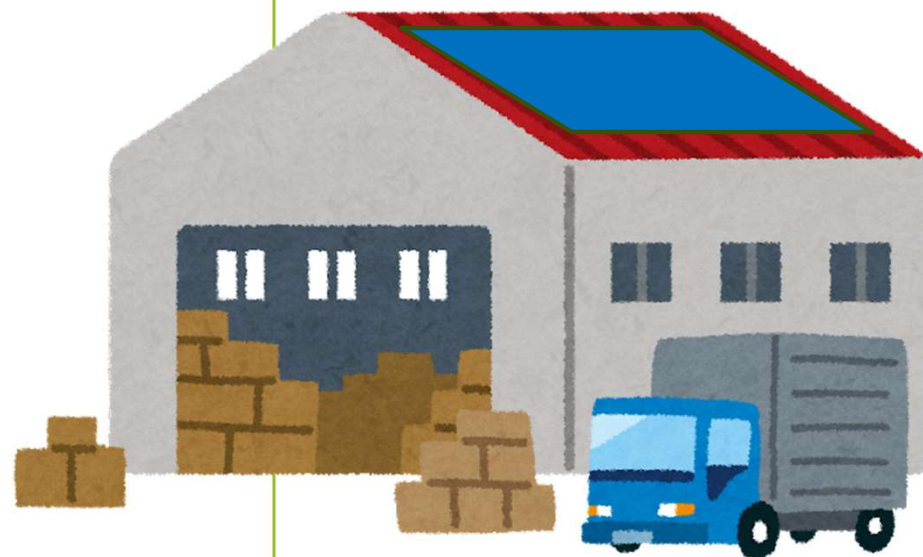


PPA市民共同発電所の提案



再生可能エネルギーを地域で拡大させることを考える市民の出資を元に、地域の様々な施設に太陽光発電を設置し、地域でエネルギーの地産地・経済循環消をめざすシステムの提案です。



2024年11月

株式会社ふくい市民発電所

NPO法人エコプランふくい

福井市宝永4-13-4

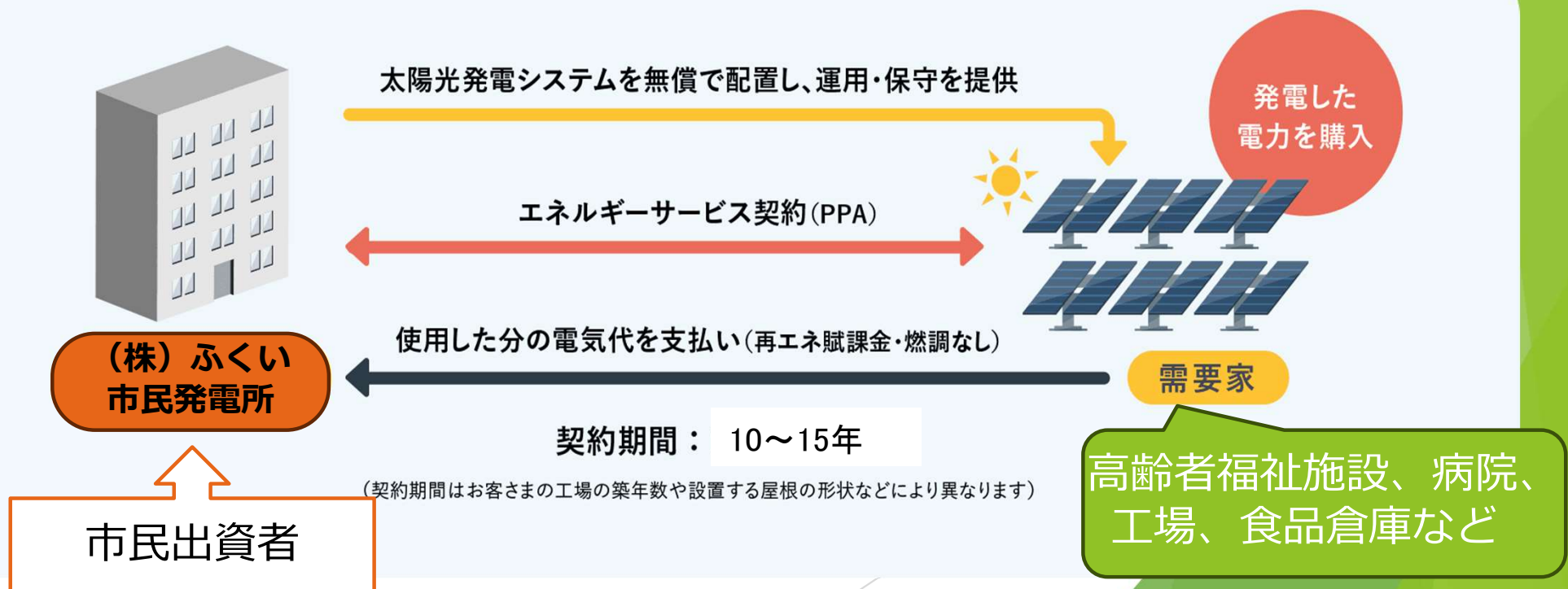
Tel. 0776-30-0092 E-mail: npo@ecoplanf.com

PPA(電力販売契約)市民共同発電所とは

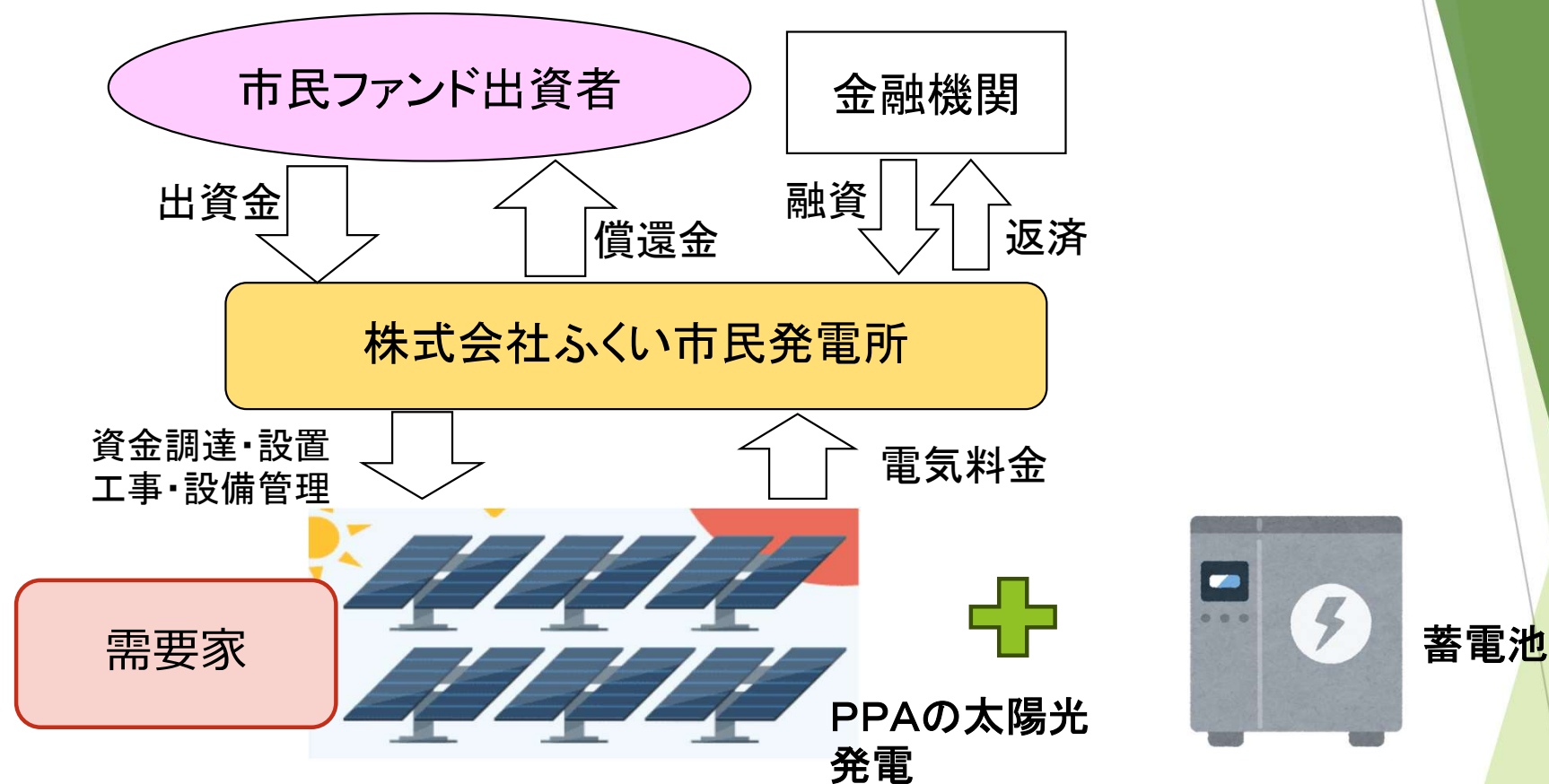
FIT価格が下がり、電気料金が上がる中で、太陽光発電を市民出資で設置し、発電電力を契約期間（15年）の間、現電気料金より格安料金で利用し、契約終了後は無償譲渡により無料で発電電力を利用できる仕組みを「PPA市民共同発電所」と言います。（株）ふくい市民発電所が事業主体となります。

例えば、工場に50kWを設置したシミュレーションでは、需要家には太陽光発電の電力を7.6%格安で販売します。需要家は初期費用も発生せずに太陽光発電の電力を利用することができます。

この事業は、市民出資の資金調達を活用した市民共同発電所で、採用する事業所のゼロカーボンのお手伝いをするシステムです。



市民共同発電所のスキームとこれまでの実績



これまでの実績

新規発電所	種類	発電容量	建設費	市民ファンド調達
4・5号機	ソーラー	26.3kWh	9,200千円	10,000千円
6号機	ソーラー	23.0kWh	8,200千円	8,800千円
7号機	ソーラー	31.2kWh	11,500千円	11,800千円
9号機	水力	127kWh	250,000千円	68,700千円

PPAシミュレーション事例

- ▶ 年間電気使用量は、150,000kWh
- ▶ 30kWの太陽光発電と20kWhの蓄電池を設置して、発電電力を需要家が購入する。
- ▶ これまでの電気料金が26円/kWhで、同額でPPAの電気料金と蓄電池リース料を支払うこととする。電気料金単価は26円のまま変わらない。
- ▶ PPA契約は15年とし、解約後の太陽光発電は需要家に無償譲渡する。
- ▶ PPA補助金を活用する。

以上を条件とした電気料金シミュレーション結果は以下のようになり、15年間は電気料金は低額で、15年後以降は、無償譲渡により、発電電力は無料で利用できます。

	これまで	PPA契約後15年間	PPA契約終了後	
電力量	150,000kWh	電気料金はそのままですが、蓄電池を0円で設置できる。	36,000kWh	114,000kWh
電気料金単価	¥26		¥0	¥26
電気料金	¥3,900,000		¥0	¥2,964,000
電気料金合計	¥3,900,000	¥3,900,000	¥2,964,000	

※設置の発電容量は、昼間の使用状況等により変わってきます。その他、条件によって大きく変わりますので、現況調査の上、契約内容の検討に入ります。